

ペン習字

使用教科書	単位数	学年・学級・学科・選択名等
くらしに生かす ペン習字入門(教育図書)	2	2年(選択A)

1 学習の到達目標

学習の到達目標	文字の均整・均衡の美を理解し、文字を正しく美しく、いきいきとした流れや動きの中で安定した文字を書くことを目標とする。そこから、生活の中の文字、葉書や手紙や履歴書などを美しく書けることを目指す。
---------	--

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
前期	4	オリエンテーション	1	授業の進め方、教科書の説明を理解する。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・取り組む姿勢 ・提出物 ・授業の準備 ・授業中の発言 ・作品 ・小テスト
	5	ひらがな	9	字源を理解し、正しいひらがなの形を書く。	○	○	○	○	
	6	カタカナ	4	漢字の字画の一部を取って書き表されたことを理解し、独自性のあるカタカナの字形をバランス良く書く。	○	○	○	○	
	7	漢字の字形	9	点の位置、線の長さ、角度などを理解し、より良い字形を意識して書く。	○	○	○	○	
	8	行書の書き方	6	筆画の崩し方、筆脈の流れ、楷書との違いを理解する。	○	○	○	○	
	9	検定問題の取り組み	6	硬筆検定の過去の問題に取り組み、傾向と対策を考える。	○	○	○	○	
後期	10	漢字仮名交じり文	15	詩、歌詞、和歌などを利用し、自己の意図に基づき作品をつくる。	○	○	○	○	
	11								
	12	はがき・手紙	10	日常に書くものを体裁よく、書いていけるよう、積み重ねて、学習をする。	○	○	○	○	
	1								
後期	2	履歴書	10	日常に書くものを体裁よく、書いていけるよう、積み重ねて、学習をする。	○	○	○	○	
	3								

3 評価等について

項目	①関心・意欲・態度	②書表現の構想と工夫	③創造的な書表現の技能	④鑑賞の能力
内容	文字の造形に関心を持ち、授業の課題に取り組めたか。字形や余白の空間や全体のバランスを心掛け、書くことができたか。	書く物に適した用具用材を選択し、習得した書体で、紙面にどのように書くと体裁よくまとめられるかを考えて書くことができたか。	楷書、行書の書き分けをし、書写検定3級程度を合格できる技能を身につけることができたか。	漢字からひらがなの成り立ちを知り、ひらがなの字形を理解できたか。漢字の構成と筆順を正しく理解できたか。
割合	20%(点)	10%(点)	60%(点)	10%(点)

評価について

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0

学年末評定について

評定	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0